

令和7年度事業実施報告書

《総括》

公益財団法人長野県スポーツ協会は、本県スポーツの総括団体としてスポーツの果たす社会的役割の重要性を認識し、加盟団体と協力しながら本県スポーツの振興と県民の体力向上に寄与することを目的としており、このため、「公益財団法人長野県スポーツ協会中長期計画」に基づき、国民スポーツ大会への選手団の派遣をはじめとして、本県の競技力向上のための諸施策を実施するとともに、スポーツの普及・振興の重要な担い手となっている加盟団体の組織運営体制の整備・充実を図った。

令和7年度事業計画に掲げた重点目標の主な事業結果は次のとおりである。

1 国民スポーツ大会

- (1) 令和10年に本県で開催される「信州やまなみ国スポ」における天皇杯、皇后杯の獲得を目指し、県、加盟団体と連携し、競技力の向上、競技環境の整備などの取組を実施した結果、第79回国民スポーツ大会に向けた第46回北信越国民スポーツ大会では、本大会出場権を37枠獲得した。本大会では総合得点697.83点を獲得し、冬季大会と合わせた総合成績では、1075.33点となり天皇杯19位、皇后杯13位という結果となった。目標では、男女総合10位以内、女子総合9位以内としていたが達成することはできなかった。
- (2) 第80回国民スポーツ大会冬季大会では、スケート、スキー両競技会において、男女総合1位となった。また、スケート競技会では女子総合が1位となり史上最多の11連覇を記録した。この結果、冬季大会終了時点では、獲得点数が405.5点となり、男女総合、女子総合ともに1位となった。

2 SWANプロジェクト事業

将来の冬季オリンピックメダリストを見出し、育成することを目的とするSWANプロジェクト事業では、第17期生として新たに10名を選考し、第16期までの48名とともに育成を行った。SWAN修了生からは、2月に開催されたミラノ・コルティナオリンピックの日本代表に3名が選出されたが、メダリストは誕生しなかった。3名以外の修了生も国内外の大会で優勝・入賞するなどの活躍を見せた。

《事業内容》

1 国民スポーツ大会への参加支援

(公財)日本スポーツ協会、文部科学省及び開催地の都道府県が共同して開催する国民スポーツ大会に本県代表選手を選抜し、長野県選手団を派遣した。

(1) 国民スポーツ大会予選会の開催

国民スポーツ大会の参加に向け、各競技における本県の代表となる優秀な選手を選抜するため、各競技団体が主催する予選会を共催者として支援した。

(2) 第46回北信越国民スポーツ大会への選手団派遣

期 日 5月31日～8月24日 (中心会期 8月22日～24日)

開催地 富山県

選手団 882名

(3) 第79回国民スポーツ大会への選手団派遣

期 日 9月28日～10月8日

開催地 滋賀県

選手団 447名

(4) 第80回国民スポーツ大会冬季大会への選手団派遣

ア スケート競技会及びアイスホッケー競技会

期 日 1月31日～2月8日

開催地 青森県

選手団 107名

イ スキー競技会

期 日 2月14日～17日

開催地 青森県・秋田県

選手団 109名

(5) マルチサポート事業の実施

北信越国スポ及び本大会に県代表として出場する候補選手及び候補チームの強化合宿や強化練習会、並びに北信越国スポ及び本大会にスポーツドクター、栄養士、薬剤師、トレーナー、特殊技術スタッフ等を派遣し、障害予防・応急処置、コンディショニング、メンタルトレーニング、栄養指導、ドーピング・サプリメント指導、メカニックの特殊技術の提供等のマルチサポートを実施した。

○マルチサポート事業実施35団体のべ578回

(6) 国スポ選手団ユニフォームの購入助成

本県代表の国スポ選手等が選手団ユニフォームを購入する際に、その費用の一部を助成した。

○助成対象22団体

(7) 企業訪問

国民スポーツ大会での活躍が期待できる選手及び指導者の所属する企業に出向き、企業での選手の練習環境の整備や国民スポーツ大会への参加に対する理解と支援を依頼した。

○訪問数 3企業、2市役所

(8) 国民スポーツ大会参加選手等への激励

本県代表として国民スポーツ大会に参加する選手等に対し、激励品を贈り支援した。

(9) 国民スポーツ大会参加選手へのサポート体制の充実

大会期間中の参加選手のパフォーマンス向上のため、サポート員の帯同費等を

支援した。

2 競技力向上事業の推進

(1) 指導者の養成

競技力の向上と指導者の資質向上を図るため、中央（（公財）日本オリンピック委員会、国立スポーツ科学センター等）の動向や最新情報を提供する指導者ミーティングやスポーツ指導者研修会を開催した。

○指導者ミーティング

開催日：令和7年12月6日 場所：長野市 参加者42名

○都道府県スポーツ指導者研修会

開催日：令和7年 8月 9日 場所：長野市 参加者113名

開催日：令和7年11月29日 場所：松本市 参加者182名

(2) 競技力向上のための環境整備

本会が所有する馬2頭を県馬術連盟に無償貸与するとともに、管理経費を補助した。また、高齢の1頭（2006年生）を県馬術連盟所有の内国産馬である馬匹（2021年生）と交換した。

3 SWANプロジェクト事業の推進

冬季競技において優れた素質を有する競技者を早期に発掘し、国際舞台で活躍できるアスリートを組織的・計画的に育成するため、SWANプロジェクトを関係競技団体、（独）日本スポーツ振興センター等と連携して推進した。

○実行委員会2回開催、選考部会5回開催、育成部会2回開催

○選考会 1次： 令和7年10月11日 場所：長野市

2次： 令和7年11月 1日 場所：長野市

○開講式 開催日：令和7年11月22日 場所：長野市

○オリンピック冬季競技大会出場記念表彰式及び修了式

開催日：令和8年 3月26日 場所：長野市

○プログラム実施回数 39回

4 競技者等のサポート

(1) 医科学サポート

選手がベストな状態で競技に臨めるよう、国スポ監督会議に併せ指導者に対して研修会を実施した。

○スポーツ医科学サポート研修会

開催日：令和7年7月31日 場所：長野市 参加者35名

テーマ：「国スポに向けたアンチ・ドーピング教育

～『うっかりドーピング』を避けるために～」

開催日：令和7年9月 2日 場所：長野市 参加者38名

テーマ：「スポーツ栄養学～糖質の摂取について～」

(2) ドーピング防止の教育と啓発

スポーツ選手による薬物の乱用や誤用を防ぎ、健全なスポーツ活動を推進するため、選手や指導者を対象とした教育・啓発活動を実施した。また、使用可能薬リスト（冊子）を作成し、国民スポーツ大会実施競技団体の監督及び選手へ配布した。

(3) オリンピアンへの支援

ミラノ・コルティナオリンピックに出場した長野県関係選手に激励金を贈呈し、競技活動を支援した。

○対象選手 11名

5 長野県スポーツ少年団の育成

〔令和8年3月31日における登録数
市町村37、単位団体434団、団員11,546名、指導者等2,317名〕

(1) 交流交歓

スポーツ少年団員の体力づくりや仲間づくりを通して、青少年の自主性及び創造性を育むため、競技別交流大会や野外活動を行った。

また、国際的視野を広めるための日独スポーツ少年団同時交流事業に2名派遣派遣するとともに、北信越ブロックとして岡谷市でドイツ団10名を受入れ、団活動の活発化と団員の更なる資質向上を図った。

(2) リーダーの育成

各地域の単位団の活動をしながら、団員のまとめ役や指導者の補助的な役割を担い、スポーツ少年団の中核となって活動するリーダーを育成するため、小学5、6年生及び中学生を対象とするジュニア・リーダースクールを開催した。

○ジュニア・リーダースクール

開催日：令和8年2月28日～3月1日 場所：長野市 参加者24名

(3) 指導者の養成

スポーツ少年団活動の中心的指導者として活動を行うために必要な知識や技術を養成するため、日本スポーツ少年団等との共催によりスタートコーチ(ジュニア・ユース)養成講習会等を開催した。

○スタートコーチ(ジュニア・ユース)養成講習会

	開催日	場所	受講者数
・北信地区	令和7年10月25日	長野市	34名
・東信地区	令和7年12月27日	佐久市	47名
・南信地区	令和7年12月13日	伊那市	34名
・中信地区	令和8年1月31日	松本市	71名

(4) ガバナンスコードの遵守指導

スポーツ少年団の組織基盤を強化するため、スポーツ団体ガバナンスコード遵守の周知を図った。

(5) 市町村スポーツ少年団の組織拡充

スポーツ少年団の更なる認知度の向上を図り、地域に根付いた活動を推進するため、市町村スポーツ少年団が新規団員・指導者を獲得する取組を支援した。

○スポーツ少年団市町村組織拡充事業 2市1町

6 スポーツ普及・交流事業の推進

地域住民のスポーツへの関心を高め、スポーツへの参加を促すため、各競技団体及び郡市スポーツ(体育)協会が実施するスポーツ教室・スポーツ大会を支援した。

○支援対象 スポーツ教室 31教室(25団体)

スポーツ大会 34大会(32団体)

7 総合型地域スポーツクラブの育成支援

(1) 総合型地域スポーツクラブの育成

生涯スポーツ社会の実現に向け、県と連携し、クラブアドバイザーを配置し、総合型地域スポーツクラブの創設、継続的・安定的運営及び「登録・認証制度」申請に向けた指導・助言を行った。

(2) 総合型地域スポーツクラブの質的向上

長野県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会において、各クラブの登録の促進、研修会の開催等により、総合型地域スポーツクラブの一層の質的向上を図った。

また、総合型地域スポーツクラブの組織基盤強化及び登録・認証のための取組に対し、助成支援を行った。

○地域スポーツ団体組織基盤強化事業

・総合型地域スポーツクラブ運営支援事業 4クラブ

・総合型地域スポーツクラブ登録・認証支援事業 7クラブ

(3) 総合型地域スポーツクラブへの指導者派遣

総合型地域スポーツクラブの活動の充実を図るため、実技指導者を派遣し、専門的実技指導・知識からの幅広い指導・助言を行った。

○指導者派遣 9クラブ 13名

8 スポーツに関する情報提供

各競技会の成績や本会のスポーツに関する取組等の情報を周知することにより、県民のスポーツへの関心を高め、本県のスポーツの振興と県民の体力向上を図るため、隔月刊「県スポだより」及び年刊「県スポながの」を発行した。

また、本会ホームページ等の活用により、スポーツに関する情報を提供した。

9 スポーツ振興功績者の表彰

県民のスポーツに対する意識の高揚とスポーツの振興を図るため、スポーツの振興に功績のあった個人及び団体を表彰したほか、国民スポーツ大会等において優秀な成績を収めた者に記念品を贈呈した。

○スポーツ振興功績者表彰

有功章：個人20名、団体 3団体

栄光章：個人24名、団体 3団体

勲功章：1名

○国スポ等優勝者記念品贈呈

第79回国民スポーツ大会：7名

第80回国民スポーツ大会冬季大会スケート競技会：5名

第80回国民スポーツ大会冬季大会スキー競技会：9名

令和7年度全国高等学校総合体育大会：16名

令和7年度全国高等学校定時制通信制体育大会：1名

令和7年度全国中学校体育大会：21名

10 関連事業への協力

県の「第3次長野県スポーツ推進計画」（計画期間：令和5年度～令和9年度）等に基づき、各種施策を進めた。

11 組織運営及び財政の確立

(1) 組織運営体制の整備

「公益財団法人長野県スポーツ協会中長期計画」に基づき、組織運営体制の整備を図るため、スポーツ団体ガバナンスコードの遵守に努め、外部評議員・女性評議員の割合について目標（10%）を達成した。

(2) 独自財源の確保

引き続き広く県民から賛助会員を募り、県民のスポーツに対する意識の高揚とスポーツの振興を図った。

○パートナー企業等

・プラチナパートナー 3

・ゴールドパートナー 3

・シルバーパートナー 3

○賛助会員総数（法人：99 個人：85）

うち新規会員（法人：3 個人：4）

(3) 加盟団体への支援

加盟団体のスポーツ団体ガバナンスコードの遵守の徹底を図るため、適合性審査等により、適切な組織運営が行われるよう支援した。

また、ガバナンス向上研修会を開催したほか、随時情報提供等を行い、加盟団体のコンプライアンスの推進、適正なガバナンスの確保を図った。

12 運動部活動の地域展開の推進に関する取組

中学校における運動部活動の地域スポーツクラブ活動への展開に関して、県・県教育委員会と連携し、加盟団体、総合型地域スポーツクラブ、スポーツ少年団等に対し、情報提供を行ったほか、講習会を開催した。

13 信州やまなみ国スポに向けた取組

令和10年に長野県で開催される信州やまなみ国スポの成功に向けて、開催機運の醸成を図るため、主催行事や会議等において大会の周知・PRを実施するとともに、信州やまなみ国スポ・全障スポ実行委員会に参画し、大会準備の取組を支援した。

令和7年度事業実施報告書の附属明細書

令和7年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書に記載すべき「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しない。